

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年（2021年）3月18日

事業所名 草笛学園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	2	<ul style="list-style-type: none"> ・おべんきょうの部屋は、狭い。 ・グループ活動や外来教室のための部屋があるといい。 	
	② 職員の配置数は適切であるか	6	6	<ul style="list-style-type: none"> ・産休や退職などで人数が減ったが、活動内容の変更や安全確保をおこないながら取り組んだ。 ・不足だと感じることもあるが、状況にあったことをして対応している。 ・人数は少なく、心配な状況に感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準配置ではあるが、年度途中からの退職や休暇があり、職員が減ったことでの負担が大きかった。 ・事前の人材確保、体制整備に努めていく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な大きさの机椅子や、個々のマーク（視覚的てがかり）の用意をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新園舎での環境の充実はできているが、引き続き、衛生面に配慮し、環境整備をおこなっていく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除や修理は、適宜、行っていく必要はある。 ・シャワー室が使いにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの分かりやすさや活動の導線など、配慮や工夫をしていく。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・会議で、起案や反省をし、全体共有をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、毎月の職員会議、年度末の会議を通して、園の在り方、活動内容の検討をしていく。また、評価表を用いて保護者への意向を確認し、現状の見直しをし、次年度への取り組みに活かすようにしていく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・家でしていることを聞きながら、園でもできる支援や活動を行っている。 	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・会議などでの報告がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの視点で、評価いただき、自己評価で振り返ることで、よりより支援になっていければと考えている。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	5	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価制度はあるが、導入はしていない。今後の検討課題である。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、コロナ禍で、研修機会は減った。 ・毎月、園内研修日が設定され、できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修はできなかったが、職員研修日が定期的に確保できたので、より有効に使って行く。
な 適 支 切	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に基づいた支援が行えているかを再確認する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援の支援については、今後、検討していく。

		した上で、児童発達支援計画を作成しているか				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	0		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	1	・ガイドラインの内容を十分に知らない。	・児童発達支援ガイドラインを念頭におき、アセスメントや支援経過など職員間での共有をおこなっていく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	0	・複数の視点で、現状の確認をしている。 ・定期的に行けるとよい。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12	0		・活動の立案をするにあたっては、活動のねらいや意図を職員間で共有したうえで行っていく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12	0	・各種会議にて、活動の振り返りをし、新たな設定をおこなっている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	12	0	・グループ活動の良さや意義を感じている。	・取り組みのねらいや意義を引き続き、確認し、取り組みに続けていく
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	2	・ねらいや注意点を確認している。 ・忙しい時や職員体制が少ない時は、不十分だが、大体はできている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	1	・会議や日々の休憩などの合間に、振り返っている。 ・時間が取れない日もあるが、大事なことを伝えあう意識はしている。 ・打合せより振り返りの方ができていない。	・引き続き、日々の振り返りは、限られた時間（終礼など）の中で、共有すべき点について実施していく。 ・より詳細については、各種の会議を通して、子どもの評価・取り組み・支援の内容を検討し、支援につなげていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	2	・書きそびれることもある。 ・まとめて書くこともある。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12	0	・	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	0		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心	8	2		・個々に必要な医療的ケアの

	身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				状況把握やできる対応など、具体的な連携を取っていくようにする。 ・また、地域の現状や課題に対しては、情報収集・共有に努める。
	②④ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	2	・保護者からの聞き取りは行うが、医療機関との直接的連携はできていない。	
	②⑤ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	・足りていないと感じることもあり、もっと丁寧にできるとよい。	・小学校への入学、保育所への入所にあたっては、支援の継続性を考える上で、情報提供が必須である。よりよい環境づくり、支援になるように具体的な連携方法を一律化し実施していく。
	②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0	0	・卒園にあたっては、行っている。	・入園にあたっては、母子保健・児童発達支援事業所などからの引継ぎを受け、適切な支援につなげていく。
	②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	1	・今年度は、コロナ禍であまりできていない。	
	②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	11	・できていない。 ・近くに保育所があるので、交流できるといい。	
	②⑨ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	4		・地域での連携や必要な支援のあり方について、検討や協力を引き続き行なっていく。
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	1	・今年度は、コロナ禍で、保護者と会う機会が減り、話すことが少なかった。	・保護者支援は子どもを支援すると同様に大切な事柄です。懇談や親子教室、研修会を通して、保護者の支援につなげている。
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	3	・家族支援プログラムを意識して行ってはいない。 ・懇談やおたよりで、関わり方や子どもの捉え方には触れている。	・家族支援プログラムの実施については、今後の検討としていく。
保護者への説明責任等	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0		・今年度はコロナ禍、十分ではなかったが、運営や支援計画など、保護者全員が集まる機会や家庭訪問などを通じて、説明を行っている。 ・わかりやすく、丁寧な説明を努めていく。
	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11	1	・今年度は、コロナ禍で家庭訪問が実施できず、十分な説明ができていない。	
	③⑭ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	0	・コロナ禍で保護者と会うことが減り、不十分だった。 ・連絡帳での相談などには、個別のおたよりで対応している。	・保護者の思いや悩みを聞いたり話したりする機会(懇談・親子教室など)を定期的に設けている。 ・引き続き、その時々の様子に

					<ul style="list-style-type: none"> 相談に即対応できないときには、他の職員と協議しながら、伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> よって、時間を設けたり、電話でのやりとりをしたりすることで、よりタイムリーに対応をしたいと思う。 保護者が安心してお子さんを預けられるように、努力をしていく。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	0	<ul style="list-style-type: none"> 体制はあるが、今年度は、難しい状況だった。 	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	<ul style="list-style-type: none"> 日程や場所を設定して対応している。 職員間で情報共有するようにしている。 迅速に対応できてないこともある。 	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	0		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	12	0		<ul style="list-style-type: none"> 情報の管理の徹底していく。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	7	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、特に難しい状況だった。 新聞を発行している。 	<ul style="list-style-type: none"> 招待する行事は難しいので、子どもの散歩や課外活動での積極的な近隣の方々とかかわりや、新聞発行による周知などを行なう。 地域貢献活動の相談窓口として機能が発揮できるように啓発していく。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12	0		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの安全を守るための必要な対応については、マニュアルを元に、職員が共有対応できることが必要である。そのための危機管理、訓練を引き続き、行っていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> 地震想定訓練や防犯への訓練が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や防犯などに対する想定を常に意識していく必要がある。マニュアルの見直しも行なっていく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	12	0		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12	0		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	0		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ヒヤリハット事項の共有をし、職員全体の意識を高めていく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会	12	0	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止ハンドブックを利 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、研修機会を設ける

	を確保する等、適切な対応をしているか			用して行っている。	とともに、学習会などでも、取り入れていく。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束はしていないと思うが、施錠や手をつなぐことなどは考えられる。 ・計画には記載していないが、必要な場面においては職員間の共有や保護者への説明をしている。 ・十分かどうかは定かでない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を押さえる、移動を室内に制限するなど身体拘束のとらえ方を明確にし、必要なことは検討、明文化する必要がある。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年（2021年）3月18日

事業所名 草笛学園 保護者等数（児童数）48名 回収数46名 割合96%

		チェック項目	はい	どちら ともい えない	いい え	わか らな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	45	1			<ul style="list-style-type: none"> ・園庭や教室など、しっかり子どもたちが活動するスペース・場所がある。 ・子どもたちは、のびのびとできている。 ・もう少し、広くてもいいかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新園舎になり、ある程度の空間が確保されています。さらに、有効な使い方をしながら、子どもたちの成長を促していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	25	17	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が年度途中で減った。 ・足りない。 ・もう少し増やしたほうがいい。 ・目は行き届いているが、職員が大変そうに感じる。負担が大きい。 ・専門性はよく分からない。 ・先生がフォローしながら見てもらっているので、安心している。適切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制度上の配置人数は満たしています。とはいえ、年度途中で職員が減ったことで、保護者には心配を募らせることになりました。子どもたちの療育生活には支障がないよう、職員一丸でやってきました。 ・次年度に向けては、心配のない人材確保をおこない、子どもたちも保護者も、安心できるように努めていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	45			1	<ul style="list-style-type: none"> ・靴箱やロッカーなど個別に使いやすくなっている。 ・トイレはスムーズに行きやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新園舎になり、衛生的にも、わかりやすい構造化にも配慮しての設備になっています。 ・子どもたちにとって安心して過ごし、分かりやすさを感じられるように、工夫と配慮をしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	45			1	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく開放的で、とても、清潔です。掃除や消毒作業など行き届いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策としての、衛生管理にも重点をおいて取り組んでいきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	44			2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子を見て、一番身近で取り組みやすいことを計画されている。 ・目標が細かく具体的なもので、クリアできたかが分かりやすい。新しい課題も分かりやすい。 ・子どもたちの「できた」を無理なく引き出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・草笛学園では、子どもたちの発達・特性を考慮し、主体性を尊重しながら、生活基盤・人との関わり・運動・コミュニケーション・行動調整などの向上をねらっています。このことが、ガイドラインに記されている項目です。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必	41			5	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの必要な支援の具体的な取り組みが示されている。 ・地域支援は難しい環境かと思う。 ・専門的で、子どもへの思いが詰まったすばらしい支 	<ul style="list-style-type: none"> ・『できること』をめざす前の『できるようにになりたい』という動機づけを大切に育てています。 ・活動プログラムは、継続

	要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか					援計画になっている。	的な取り組みの中で、子どもたちの力になっていくものもあれば、その中で、段階的に内容やかかわりを変えて取り組むものもあります。個々に必要な支援の在り方を考えて取り組んでいきます。	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	44			2	<ul style="list-style-type: none"> 親子教室や参加日で見ると、細かい支援で子どもがいきいきしている。 おたよりなどで、行っていることを細かく教えてもらっている。 		
	⑧ 活動プログラム iii が固定化しないよう工夫されているか	41	2		3	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容は無理のないように工夫して、新しいことにも取り組んである。 個々の発達に合わせたり、季節や友だちとのかかわりに配慮したりした取り組みがされている。 		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	20	19	<ul style="list-style-type: none"> 障害のない子と関わるのは難しいが先生が間に入ってもらうながらかかわる機会があるといい。 コロナ禍なので、難しい。 他の保育所との交流はあるのか？ バス停で兄弟児との交流はある。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所などの子どもたちと関わる機会は持っていません。 近隣の保育所との交流も視野にありましたが、今年度は、コロナ禍で、取り組みができませんでした。 時期を見て、実施に向けていこうと思います。 	
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	43	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 説明してもらっている。 お手紙でもわかりやすく説明をしてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営については、入園説明会、保護者総会で。個別支援計画は家庭訪問、懇談で、説明していますが、今年度はコロナ禍、不十分でした。 	
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	45				1	<ul style="list-style-type: none"> 先生に一つ一つお話をした。 分からないことは質問した。 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインとの照らし合わせての説明はできていません。内容的には十分含まれていますので、今後、示し方を検討していきます。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング iv 等）が行われているか	35	4	1		6	<ul style="list-style-type: none"> あまり行事等、園に行く機会がなかったが、ほめ方など教えてもらった。 勉強会や懇談でアドバイスをもらっている。 負担になるくらいある。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者支援は、親子教室や懇談、学習などいろんな形でっていますが、プログラムとしての取り組みはおこなっていません。 支援プログラムの実施は検討していきます。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	43	2	1			<ul style="list-style-type: none"> おたよりで、細かく伝えてもらって、うれしく、安心できている。 おたよりを楽しみにしている。 電話や会ったときに、様子を教えてもらっている。 いろんな先生から教えてもらえ、安心している。 子どもだけでなく、親の心配もしてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から、お子さんの様子、変化、取り組みについて、お話しする機会、読んでもらうお便り等でお伝えしています。 クラス担任に限らず、どの職員にでも声をかけてもらえたらと思います。 日々の様子を知りたいという声はもっともだ

						・連絡帳の返事がない。	と思いますが、子どもたちに係る時間を優先させてもらっています。ご理解していただければと思います。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	42	4		・困った時の電話対応は助かっている。 ・助言をもらっている。 ・おたよりでも、助言が返ってくる。 ・親子教室や懇談で対応してもらっている。		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	31	7	3	3	・今年度については、保護者会の集まりをすることは、できませんでした。ですが、保護者会の活動はされていたので、相談などにのってきました。 ・コロナ禍の自粛中は、掲示板など保護者同士のつながる機会を作ってきました。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	42	1		2	・面談の時間を設けてもらったり、電話で対応してもらったりしている。 ・細やかに対応してもらっている。	・その都度、必要に応じて、電話や面談で、対応してきました。 ・子どもたちの成長には、家族の力が大切です。一緒に子どもたちを見ていけるように、工夫や配慮をしています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	46				・おたよりや療育カレンダーで、子どもとの情報共有がしやすくなっている。 ・電話やお帳面で子どものことを伝えてもらっている。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	42	2		1	・今年度は行事が少なく、子どもたちの様子がイメージしにくかったので、写真などをもっとホームページに載せてほしい。 ・園長のことばを読んで、親として考えなくてはいけないことがたくさんあると思えた。	・必要な情報提供は各おたよりを通じて行っています。今年度は、コロナ禍、行事の中止や内容の変更などたくさんあり、子どもたちの様子を知る機会が減ったこともあり、もっと、工夫ができればよかったと思います。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	44			2	・	・個人情報の扱いは、重要かつ慎重なことです。管理、共有の徹底に努めます。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	36	2		8	・緊急時の一斉メールは、毎月、確認がある。 ・防犯マニュアルはあるのかわからない。	・防災計画・危機管理マニュアル・事件対応マニュアルなど、所定の位置に閲覧できるように設置していますので、ご確認ください。 ・感染症の罹患状況や対処方法などについては、その都度、必要に応じて
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に	37	2		7	・毎月、避難訓練をしてもらうことで、子どもにも少し	

		避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				意識ができていると思う。	お知らせいたします。 <ul style="list-style-type: none"> ・非常災害の発生に備えて、毎月の避難訓練を行うとともに、保護者への連絡も一斉メールにて毎月、確認を行っています。 ・多様な状況に応じた訓練も実施していきます。
満足度	②②	子どもは通所を楽しみにしているか	43	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・登園バスに乗るのを一度も拒否したことがない。 ・療育カレンダーや給食だよりをみて、楽しみにしている。 ・園での表情は生き生きしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもたちが“いきたい”“たのしみ”と思えるような活動や工夫をしていきます。 ・子どもたちが楽しんでいる様子、頑張っている様子は、お便りやホームページで伝えていきます。
	②③	事業所の支援に満足しているか	44	2		<ul style="list-style-type: none"> ・心のこもった優しい草笛の支援に満足。 ・きめ細かく対応してもらっている。 ・親子共々、温かく見守ってもらっている。 	

- ・ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。